

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・3 月予測） ～雇用、消費分野が落ち込み回復に足踏み

2021 年 3 月 4 日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020 年 4 月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の 3 カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、2021 年 2 月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した 2021 年 3 月の予測 CI を解説する。

2021 年 3 月の九州 7 県の予測 CI：回復に足踏み

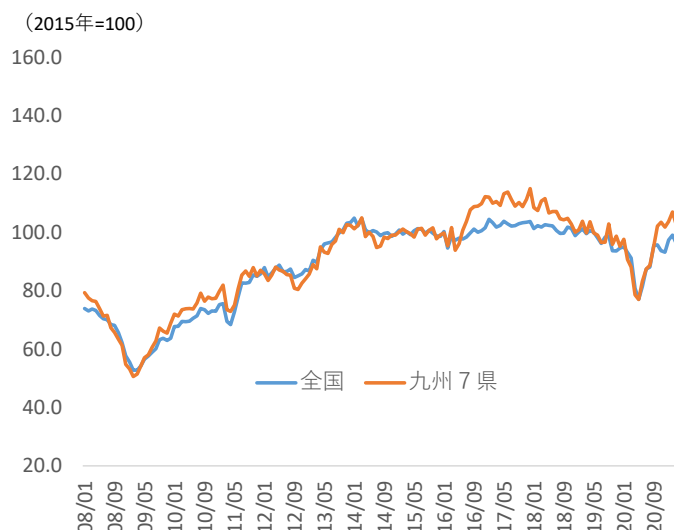
2021 年 3 月における九州 7 県の予測 CI は前月比▲4.0%の 102.7 となり、3 カ月ぶりにマイナスとなった。都道府県 CI は 2020 年 5 月を底に反転し、改善が続いていたが、雇用、消費分野の先行系列の落ち込みから足踏みとなっている。

なお、全国は前月比▲2.8%の 96.3 となり、九州と同様にマイナスとなった。

2 月 2 日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言の対象期間が 2 月 7 日までから 3 月 7 日までに延長された。2 月は雇用分野の関連指標が強くプラスを維持したが、消費関連指標は落ち込んでいる。3 月は消費分野に加えて雇用分野の先行系列もマイナスとなっており、今後の回復ペースの減速が懸念される。



図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2020年12月までは実績値（都道府県 CI）、2021年1月～2021年3月は予測 CI

注2) 2021年3月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

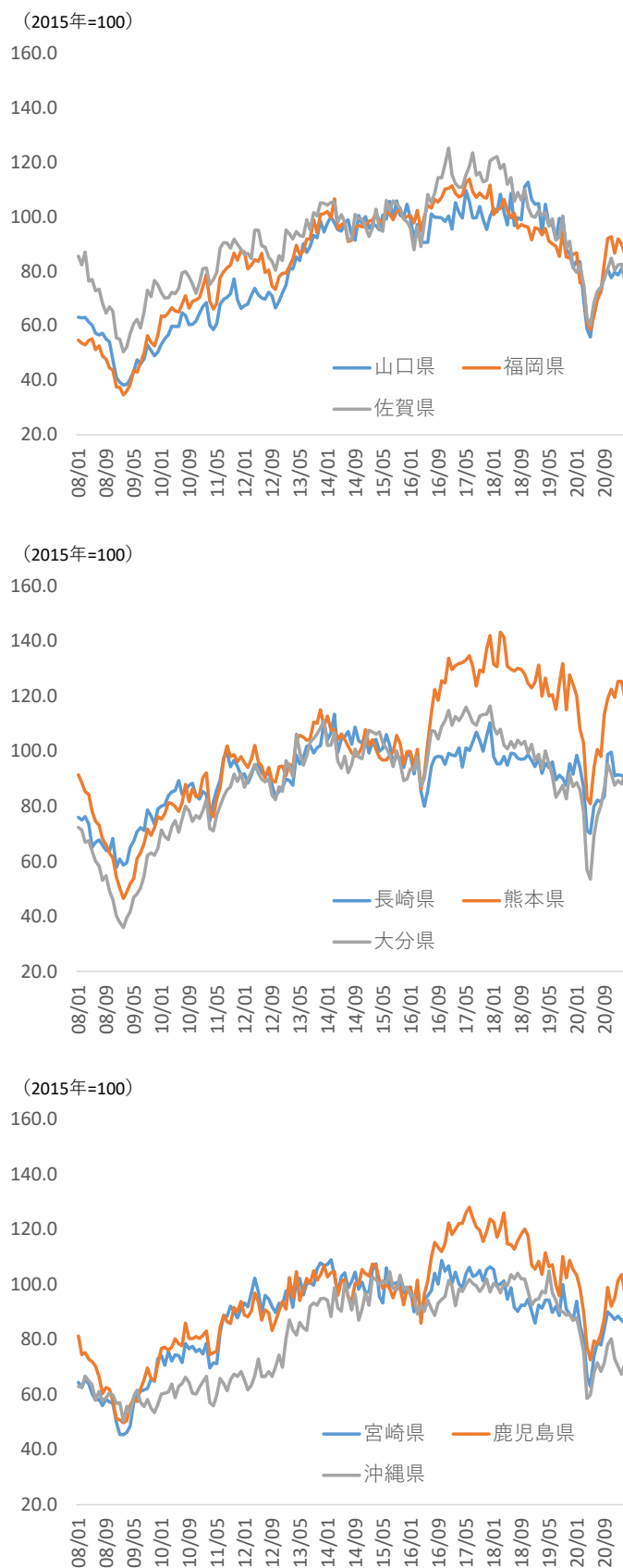
2021年3月の九州地域の予測 CI：雇用分野、消費分野が停滞

2021年3月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測 CI を県別にみると、大分県（前月比＋4.4%）、沖縄県（同＋6.1%）で前月比プラス、その他の7県でマイナスとなった。全県で雇用分野の先行系列が落ち込むなかで、大分県、沖縄県は他県に比べ消費分野の先行系列がプラスとなっている。消費分野の落ち込みは福岡県で最も大きく、その他の県では下落幅が比較的小さいか、前月比プラスとなっており、緊急事態宣言発令の影響が反映されたとみられる。

松嶋 慶祐（事業開発部 主任研究員）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI（県別）



注1) 2020年12月までは実績値（都道府県 CI）、2021年1月～2021年3月は予測 CI

注2) 2021年3月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

表1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州地域)

	指数 (2015年 = 100)						前月比 (%)					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2020年 10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月	2020年 10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月
全国	95.7	93.7	93.2	97.4	99.0	96.3	0.2	▲ 2.1	▲ 0.5	4.5	1.7	▲ 2.8
九州7県	102.1	103.5	101.8	103.7	106.9	102.7	7.1	1.4	▲ 1.6	1.8	3.1	▲ 4.0
山口県	80.6	77.6	79.6	78.6	81.0	77.3	2.3	▲ 3.7	2.6	▲ 1.3	3.0	▲ 4.6
福岡県	92.0	92.6	86.6	91.8	89.9	86.1	11.0	0.7	▲ 6.5	6.0	▲ 2.1	▲ 4.2
佐賀県	80.8	84.8	80.3	82.3	82.5	76.6	4.7	5.0	▲ 5.3	2.5	0.3	▲ 7.2
長崎県	98.8	99.6	91.0	91.4	91.1	91.0	18.2	0.8	▲ 8.6	0.5	▲ 0.4	▲ 0.1
熊本県	119.0	122.5	119.5	125.3	125.3	119.2	4.9	2.9	▲ 2.4	4.9	0.0	▲ 4.9
大分県	95.3	91.8	87.6	89.3	88.1	91.9	9.9	▲ 3.7	▲ 4.6	2.0	▲ 1.4	4.4
宮崎県	90.0	88.7	87.2	88.5	87.0	85.8	7.3	▲ 1.4	▲ 1.7	1.5	▲ 1.6	▲ 1.4
鹿児島県	98.9	92.1	95.0	101.4	103.5	96.7	12.6	▲ 6.9	3.1	6.8	2.1	▲ 6.6
沖縄県	78.1	80.2	73.0	70.2	67.3	71.4	9.2	2.7	▲ 9.0	▲ 3.8	▲ 4.1	6.1

注1) 2020年12月までは実績値(都道府県CI)、2021年1月～2021年3月は予測CI

注2) 2021年3月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i 景気動向指数(CI)は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県CIは、内閣府が公表するCIの作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測CIは、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県CIを予測したものである。経済指標のほか、気象データ(気温や降水量)など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測CIは全国、地域ブロック、九州地域(九州、沖縄県、山口県)の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号